


阿見町(あみまち)

	市章等 〒 300-0392 〈住所〉 稲敷郡阿見町中央1丁目1番1号 〈TEL〉 029-888-1111 〈FAX〉 029-887-9560 〈HP〉 http://www.town.ami.ibarakijp 〈e-mail〉 ami@town.ami.lg.jp	地域指定 都市開発	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞じゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町 村会館 税滞納整理 し尿 火葬場	公営企業 法適用(上水) 法非適用 (公共下水 農業集落排 水 宅造)
	類型 V-2 地方公共 団体コード 084433 面積 71.39 km ²			

<行政組織>

①長等(平成23年5月1日現在)

長	あまだ ふじお 天田 富司男 (64歳)	任期	平成26年3月19日
副町長		就任回数	1期目
		欠員	

②議会(平成23年5月1日現在)

議長	佐藤 幸明	副議長	藤井 孝幸
任期	平成24年3月31日	条例定数	18人
党派別	公明3人, 共産1人, 無所属14人	現議員数	18人

③職員数(平成22年4月1日現在) (人)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業 会計関係
355	321	214	34
一般行政職の 平均給料月額	3,252 百円	ラスパイ レス指数 99.9	地域手当 補正後 ラス指数 99.9
全職員数の 推移	平成19年4月1日	平成20年4月1日	平成21年4月1日
	364	357	354

④機構図(平成23年4月1日現在)

<町長>—

総務部 — 総務課
企画財政課
秘書課
管財課
税務課
収納課

民生部 — 社会福祉課(福祉センターまほろば)
児童福祉課(保育所, 児童館, 地域子育て支援センター)
障害福祉課(総合保健福祉会館内)
国保年金課
健康づくり課(総合保健福祉会館内)
町民課(うずら出張所)

生活産業部 — 農業振興課
商工観光課(消費生活センター)
環境政策課
廃棄物対策課(霞クリーンセンター, さくらクリーンセンター)
町民活動推進課(町民活動センター)

都市整備部 — 都市計画課
道路公園整備課
都市施設管理課
下水道課

<会計管理者> — 会計課

<消防長> — 総務課
警防課
消防署

<水道事業管理者> — 都市整備部 水道課

<教育長> — 教育次長 — 学校教育課(給食センター),
指導室(教育相談センター, 町立小学校8校,
町立中学校3校),
生涯学習課
中央公民館(君原公民館, かすみ公民館,
本郷ふれあいセンター,
舟島ふれあいセンター)
図書館
予科練平和記念館

<議会> — 議会事務局
<行政委員会>
選挙管理委員会事務局(総務課内), 監査委員事務局(総務課内),
農業委員会事務局

<概要>

①沿革

昭和30年4月1日 合併 阿見町 朝日村 君原村 舟島村(大字舟子を除く)

②地勢・風土等

阿見町は茨城県の南部に位置し、日本第2位の面積を誇る霞ヶ浦の南岸に面している。

首都東京へは南に50km, 県都水戸へは北に50km, 成田新東京国際空港へは南東に30kmの位置にあり、東京、水戸へはJR常磐線や常磐自動車道を利用して約1時間の距離にある。東西に11km, 南北に9kmの広がりを持ち、平均海拔は21mとおおむね平坦な地形となっている。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成23年4月1日)
	平成12年	平成17年	平成22年(速報値)	
人口	男	23,196	23,824	—
	女	23,726	24,170	—
	合計	46,922	47,994	47,940
世帯数	16,035	17,443	17,954	18,034

④有権者数(平成23年3月2日現在) ⑤高齢人口割合 (H23.3.31住基人口)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	19,044	19,209	38,253	

<産業・経済>

①生産・所得(平成20年度)

市町村内総生産	1,958 億円	就業者1人当り	9,809 千円
住民所得	1,529 億円	人口1人当り	3,196 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成20年度)		就業人口(平成17年国調)	
第1次	2,419	1.2%	1,139	4.7%
第2次	112,241	57.3%	6,565	27.2%
第3次	84,971	43.4%	16,252	67.4%
総額・総数	195,805	—	24,119	—

③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家数	農業就業人口
	991	178	
製造業 (平成21年12月31日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H21.1.1~12.31)
	90	5,458	260,993
卸・小売業 (平成19年6月1日)	商店数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	301	2,359	41,378

④特産物

すいか, 蓮根, ヤーコン

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成20年度決算	平成21年度決算	増減率
歳入	13,633,845	14,842,769	8.9
歳出	12,890,353	13,978,357	8.4
形式収支	743,492	864,412	-
実質収支	453,226	719,966	-
単年度収支	△ 394,329	266,740	-
実質単年度収支	△ 332,963	223,632	-

②主な歳入・歳出(平成21年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	14,843	-	1,209	8.9
地方税	7,377	49.7	△ 517	△ 6.5
地方交付税	827	5.6	710	609.3
国庫支出金	1,659	11.2	799	92.9
地方債	1,298	8.7	511	65.0
うち臨財債	605	4.1	-	-
その他	3,682	24.8	-	-
うち繰入金	338	2.3	-	-
歳出	13,978	-	1,088	8.4
義務的経費	5,620	40.2	△ 148	△ 2.6
人件費	2,792	20.0	△ 44	△ 1.6
扶助費	1,139	8.1	66	6.1
公債費	1,688	12.1	△ 169	△ 9.1
投資的経費	2,053	14.7	-	-
普通建設事業費	2,053	14.7	437	27.0
うち補助	1,112	8.0	101	10.0
うち単独	912	6.5	344	60.5
その他の経費	6,306	45.1	-	-
うち繰出金	1,744	12.5	-	-

③主要指標(平成21年度)

<健全化判断基準>

実質赤字比率	- % (13.49)
連結実質赤字比率	- % (18.49)
実質公債費比率	11.0 % (25.0) [12.0]
将来負担比率	28.2 % (350.0) [86.6]

<普通会計に関する主な指標>

財政力指数(平成20年度～平成22年度)	0.925 [0.750]
経常収支比率	94.3 % [90.0]
標準財政規模(平成22年度)	9,204 百万円 [15,042]
地方債現在高(A)	11,872 百万円 [21,892]
債務負担行為支出予定額(B)	1,002 百万円 [2,972]
積立金現在高(C)	3,686 百万円 [4,557]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	9,188 百万円 [20,307]

※1 ()は早期健全化基準, []は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成21年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税・個人(構成比)	2,850,429 (35.0)	2,573,287 (34.9)	90.3
市町村民税・法人(構成比)	644,328 (7.9)	640,974 (8.7)	99.5
固定資産税(構成比)	3,785,626 (46.5)	3,364,257 (45.6)	88.9
市町村税合計(国保除く)	8,147,455	7,377,035	90.5

<公共施設整備状況>(平成21年度)

小学校	8 校	プール	1 か所
中学校	4 校	児童館	2 か所
幼稚園	4 園	老人福祉施設	2 か所
保育所	7 か所	病院・診療所	28 か所
図書館	1 か所	道路改良率	31.95 %
公営住宅	404 戸	道路舗装率	58.72 %
公民館等	3 か所	上水道等普及率	80.86 %
体育館	3 か所	排水等処理率	82.64 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
本郷第一土地区画整理事業	H6 ～ H30	土地区画整理事業	8,097
荒川本郷地区雨水対策事業	H16 ～ H24	排水管渠及び調整池整備事業	2,091
都市計画道路荒川沖・寺子線整備事業	H21 ～ H25	都市計画道路整備事業	805
都市計画道路中郷・寺子線整備事業	H21 ～ H25	都市計画道路整備事業	1,090

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・行財政改革の推進
- ・土地区画整理事業の推進
- ・少子高齢化社会への対応
- ・耕作放棄地解消対策
- ・阿見東部工業団地への企業誘致
- ・地域公共交通活性化の推進
- ・観光振興の推進

<特色ある行政>

- ・健康と福祉のまちづくり
- ・生涯学習の充実したまちづくり
- ・自然環境を生かし、緑を貴重とした美しいまちづくり
- ・霞ヶ浦湖岸公園の推進
- ・町民と行政の協働によるまちづくり
- ・町内の三大学との連携